

くろしお協力隊に聞く



【今月の担当者】
地域おこし協力隊
(鉄道を中心とした地域活性化)
たかはし たくお
高橋 徹

❶ 協力隊の任期も残り1年。どのように活動していく予定ですか？

❶ 引き続き町内の駅の清掃や町民の方から本を寄贈していただき、鉄道を利用する方に読んでもらい、メッセージカードを通じて両者をつなげる取組など、現在行っている業務や取組は続けながら、「地域の方と協力して地元を盛り上げる」ということを強く意識して残りの1年を頑張っていきたいと思います。昨年夏にはサメと思われる生物が確認されたり、南海トラフ地震臨時情報が発表されたことなどから例年よりも観光客が少なかったように思うので、今年は1人でも多くの方に黒潮町へ来ていただければと思います。来町いただくための宣伝、アピールをどのように行えば良いのか、くろしお鉄道の方々に相談しながらいろいろと試していきたいと思います。そのほか、昨年には地元へ帰省された方々をお迎えするのに、到着メロディーを生演奏できればと企画していたのですが実施できなかったのが、今年は実施できれば良いなと思っています。

❷ 協力隊卒業後については何か考えていますか？

❶ 現在、黒潮町と四万十市で塾を2教室開いているため、塾を続けながら日中は町内で働ければと考えています。塾は最大3教室開校したいと考えており、塾を必要としている地域がないかを調べたうえで、開校場所も検討していきたいと思います。そのほか、黒潮町の地域おこし協力隊3名で結成したバンドがあり、ステージに上がらせていただく機会もあるため、イベントの際には是非お声がけください。



寄贈者、読者のメッセージが貼られた佐賀駅舎

協力隊から一言！

卒業後もこの町に骨をうずめる覚悟ですので、よろしくお願いします。

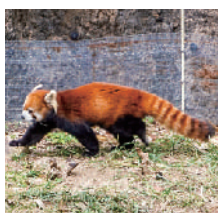
Kramer's Corner クレマのコーナー



今月のテーマ 子ども広場の楽しい1日

3月8日にこどもサポートセンターの子ども広場のイベントで、引率者として黒潮町の小学生たちと一緒にのいち動物公園と創造広場アクトランドに行ってきました。のいち動物公園は香南市にあり、約100種類の動物がいます。レッサーパンダやワラビーなど、今まで僕が実際に見たことのない動物までいました。着いたらグループに分かれ、動物園のスタッフが親切に案内してくれ、それぞれの動物について説明してくれました。子どもたちはワクワクしながら動物を見たり、写真を撮ったりしていました。僕は久しぶりの動物園が楽しかったし、子どもたちが動物についてよく知っていて本当に驚きました。まるで動物園の飼育員みたいでした。

のいち動物公園の後、アクトランドに移動し、子どもたちを遊ばせました。僕はアクトランドに行くのは初めて、少し不思議ながら面白い場所だと思いました。遊具から古い工具や電話の展示まで、遊園地と博物館が一体化したような場所でした。ここはどんなところだろうと僕が思っていると、子どもたちはさっと遊具に駆け寄り遊び始めました。途中で雨が降り出したのに、子どもたちはまったく気にせず、思いっきり遊びました。携帯電話やコンピューターを見る時間が増え続けている世の中で、このような昔ながらの遊園地で時間を過ごすのは本当にいいことだと感じました。とても充実した1日でした。



レッサーパンダ



ワラビー

今月の使える！英語

イッツ ア ズー
It's a zoo!

Zoo は「動物園」を意味し、文字通りの意味に加え、まるで動物園の動物たちが暴れているような、騒がしく 混乱した場所を表現する慣用語としても使われます。

